

第2学年 国語科学習指導案

児童 2年2組 男12名 女8名
指導者 黒澤 和則

読んで、せつめいのしかたを考えよう

中心教材「しかけカードの作り方」(光村図書2年下)

＜指導事項＞	
◎時間的順序や事柄の順序などを考えながら大体を読むこと。	(読むイ)
○順序性を示す表現の意味を理解すること。	(伝国リ)

＜言語活動＞
◎「竹とんぼの作り方」を書く。

1. 教材について

- ・初めて出会う，説明書のような説明文である。
- ・実際の作業を伴い，児童一人一人が楽しく読むことができる。
何度でもフィードバックして読むことができる。
- ・「材料と道具」「作り方」「使い方」の三項目に分けられている。「作り方」では，作業の手順がまとまりごとに順を追って示され，作業しながら読むことによって，書かれていることを正確に理解することができる。
- ・大きく3つに分けられ，以下のような構成になっている。

構成	段落	内 容	順序を表す言葉など
はじめ	①②	話題提示	
中	③	材料と道具	
	④①	仕掛けの台について1	「まず」 数値
	⑤②	仕掛けの台について2	「つぎに」
	⑥③	仕掛けの台について3	「それから」
	⑦④	飾りについて	「こんどは」 留意点
	⑧⑤	くみたて	「さいごに」 位置
	⑨⑥	できあがり	「これで」
おわり	⑩	使い方	

2. 児童について

児童は，これまで「たんぼぼのちえ」，「どうぶつ園のじゅうい」の学習で，時間的順序や事柄の順序について繰り返し学習を重ねてきた。「どうぶつ園のじゅうい」では，獣医の仕事とわけについてリライトすることを通して関連づけて読むことができた。

本教材でも，「手順」という順序に沿って読むことを学習する。普段の生活の中においても，「掃除の手順」「給食の準備や片付けの手順」と手順を意識して活動することがあるわけだが，文章化されたものを読んで理解するという経験は少ない。また，絵や写真と文を対応させて読む学習は1学年で「いろいろな くちばし」において経験してきている。

3. 指導にあたって

指導にあたり，以下の点に留意していく。

第1次では，単元のゴールを示し，「しかけカードの作り方」の学習の見通しをもたせる。また次の単元において，本単元で学んだことも生かして，それぞれが，自分で選んだ「おもちゃの作り方」を書くことを示しておく。

第2次では，文章と写真を結びつけながら順序に気をつけて読み，説明に使えるような言葉に着目させ，分かりやすい説明の工夫をとらえさせる。分かりやすい説明の工夫をもとに，共通体験した「竹とんぼの作り方」をリライトさせ，分かりやすい説明の仕方を確実に身につけさせる。

第3次では，分かりやすく説明するための工夫をまとめ，竹とんぼの作り方の説明を完成させる。

4. 単元の目標

◎「しかけカードの作り方」を読んで，しかけカードを作り，「説明のしかた」について意識をもつことができる。

5. 単元の評価規準

【関】事物の作り方に興味をもち，書かれていることを読もうとしている。

【読】手順，事柄の順序などに気づいて読んでいる。

写真と文を照応させながら読んでいる。(1)イ

【言】順序性を示す表現の意味を理解している。(1)ウ

6. 単元指導計画 (全8時間)

段階	ねらい	時間	主な学習活動	評価規準と評価方法	言語活動
見通す	全文を読み，学習の見通しをもつことができる。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文を読みしかけカードを作ってみる。(1) ・作ってみたことから学習課題を話し合う。 ・単元のゴール，学習課題，学習計画を確かめる。(1) 	<p>【関】しかけカードに興味をもち，書かれていることを読み取ろうとしている。</p> <p><発言・観察></p>	竹とんぼの作り方を書く。
深める	文章と写真を結びつけながら，書かれていることを順序よく読むことができる。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・<材料と道具><作り方><使い方>の3つに分かれていることを確かめ全体の文章構成を確かめる。(1) ・教材文を読み。「順序」を表す言葉の必要性がわかる。 ・「まず」「つぎに」…手順を表す言葉を意識して，「竹とんぼの作り方」の文章を並べ替える。*リライト ----- ----- (1) 本時 ・「写真」から読み取れる情報があることと「具体的な数値」(長さ，本数など)の必要性がわかる。 ・カードの土台を作る。 ・竹とんぼの文に見つけたことを書き加えていく。 ----- ----- (1) ・「注意書き」「場所」「大きさ」の必要性がわかる。 ・飾りを作って，仕掛け台 	<p>【読】各まとまりごとの内容を読み取り，写真と結びつけながら読み取ることができる。</p> <p><発言・ノート・観察></p>	

			にはり，カードを完成させる。 ・竹とんぼの文に見つけたことを書き加えていく。 (2)	
使う	分かりやすく説明するための工夫を使うことができる。	1	・竹とんぼの作り方を完成させる。(清書) (1)	【読】 分かりやすく説明するための工夫を読み取っている。<観察・ノート>

7. 本時の指導 (第2次 4/8)

(1) ねらい

教材文から，順序を表す言葉をとらえ，「竹とんぼの作り方」を並べ替えることにより，順序を表す言葉がわかる。

(2) 展開

段落	学習活動・学習内容	支援及び留意点
見通す 5分	1. 前時までを想起する。 2. 本時で学習するところを音読し，学習課題を確認する。 説明のこつを見つけよう。(その1) じゅんじょよく書く	・前時までの学習内容を簡単に振り返る。
深める 35分	3. 「しかけカードの作り方」から順序を表す言葉を見つけ，順序を理解する。 4. 「竹とんぼの作り方」を手順にそって，並べ替える。(リライト)	・順序を表す言葉を確認させる。 「まず」「つぎに」「それから」… ・拡大写真を準備しておき，作り方のイメージができるようにしておく。 <評価> A：作り方のカードを順番に並べ，さらに必要な言葉がないか考えることができる。 B：作り方カードを順番に並べ，順序を表す言葉を付け足すことができる。 Cへの支援 作った時の手順を写真と合わせながら振り返り，手順を表す言葉と対応させ，並べ替えさせる。
まとめる 5分	5. 学習のまとめ まとめの音読 6. 次時の学習の見通しをもつ。	・順序を表す言葉の大切さを振り返りまとめさせる。 ・次時の学習を予告する。